

一般的な水転写式デカールの使い方



①貼り付け面はツヤありに

デカールをツヤ消し面に貼った場合は、高確率でデカールが浮きます（シリバリング）。貼り付ける面が、ツヤ消しや半ツヤ状態になってしまった場合は、貼る場所にクリアを塗装してツヤを出すと、浮き上がりを緩和できます。

②水に沈めたままにしない

デカールを貼り付けるための水溶性糊は、乾燥状態でデカールと台紙の間に存在します。水に沈めたまま放置してしまうと、ノリが流れ出して、デカールが貼り付く成分自体が溶け出し、なくなります。

③乾燥ノリが溶けるまで待つ

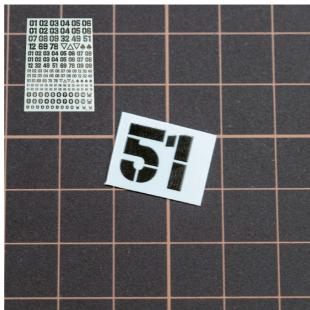
台紙を温らせるときに、水溶性糊まで水が浸透しないとノリが機能しません。溶けたかどうかを確認しながらの作業が必須。古いデカールの場合は、ノリが溶け出すまでに時間がかかります。

▶ より詳しい解説動画

動画では、水皿の準備、貼り方、補助剤の効能、貼付け後の研ぎ出しまで詳しく紹介しています。



①使いたいデカール選び、
オーバーコート（透明層）の
周辺をハサミを使って切り離します。



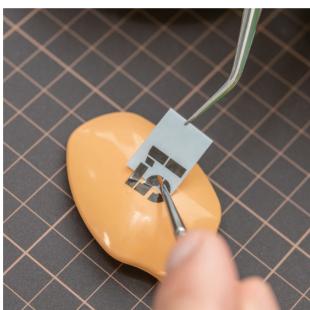
②陶器皿に繊維が出ない布や
ティッシュなどを折りたたんで置き、
台紙裏面を水で温らせます。



③さきほど皿に置いたまま、
デカール全体が台紙の上でスライド
できるようになるまで待ちます。



⑤ピンセットと水に温らした筆を使い
デカールを台紙からスライドさせて
対象物の上に乗せます。



⑥デカールスキージーや水で
温らして柔らかくした綿棒などで
水を押し出しながら貼り付けます



⑦乾いたら、スプレーなどで
ツヤ調整とデカールの保護を兼ねた
クリアコーティングをして完成。



※デカールを引っ張るのではなく、台紙を引
き抜くのがポイント。

※「デカールスキージー」は水転写式デカール
貼り付け専用の吸湿スponジ付き棒です。

※クリアコーティングに使える塗料に制約があ
りますので注意が必要です。